



開二小だより

Vol. 181

第8号

平成29年12月1日発行

練馬区立開進第二小学校

校長 長田 信彦

www.kaishin2-e.nerima-kyo.ed.jp

～ 子ども達の“いじめ撲滅”への決意！～

校長 長田 信彦

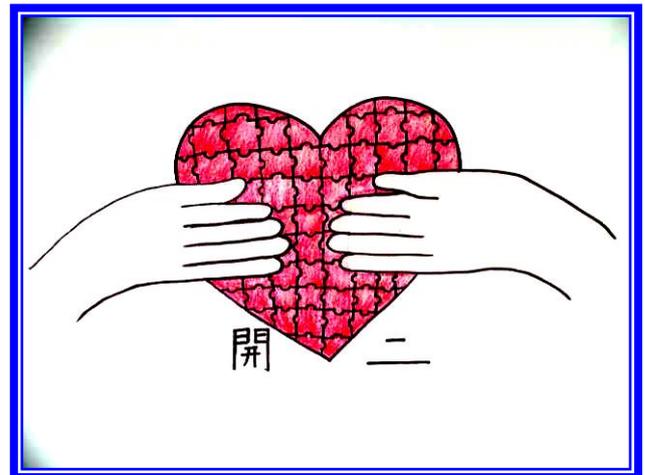
11月は「ふれあい月間」でした。18日(日)には快晴の中、校庭と体育館にて“ふれあい広場”が開催されました。体育館・校庭では、ガリレオ工房の先生方の指導による様々な理科の実験。そして、PTAのお母さんお父さん方によるスライム作りなどなど……。楽しい時間を互いに“ふれあって”いました。校庭では、お餅つき体験です。父親の会と桜台自治会の皆様が、お餅をついていきます。そして子ども達もその仲間に入り、お父さんのかけ声でつきました。ここでも豊かな“ふれあい”がありました。最後は、お母さんたちと自治会の女性部の皆さんが作ってくれた“きな粉餅・あんこ餅・磯部餅”を頂き、満足そうな笑みを浮かべる子ども達でした。

学校では“いじめ撲滅”運動に、全校児童が取り組みました。まず、代表委員会が開二小の基本となるシンボルマークを作ってくれました。そして、全校の子ども達に呼びかけたのです。

『これが、開二小のいじめをなくすシンボルマークです。皆さんも一人一つずつ自分自身のシンボルマークを作りましょう。』

457名の子ども達が、それぞれの“いじめ撲滅”の想いを胸に457枚

のシンボルを作り上げていきました。



この代表委員会の作ってくれたシンボルマークは、ハートの形に組み上げられたジグソーパズルのその一つ一つの赤いピースが子ども達一人一人を表しているのだそうです。そして、子ども達全員が組み合わさることによって、このハートの形になっているのだそうです。さらに、大きな手でそのハートを大切に抱えているということです。

子ども達の発想力と表現力には、いつも驚かされます。しかし今回は、それにもまして、子ども達の心の澄んだ、「よりよく、素敵に前に前に進んでいくのだ。」という尊さと美しさに心を大きく動かされました。

この“いじめ撲滅”に向けての活動が、今現在続いている学芸会の練習にも繋がっています。当日の子ども達の演技に、どうぞご期待下さい。